※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。
その中には私たち日本人のライフスタイルとは違ったニーズからパナソニック製品が選ばれていることもあります。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

カンボジア編

今回の舞台は、世界遺産アンコールワットで知られるカンボジアです。さて、カンボジアではどのようにパナソニックが活躍しているのでしょうか。シェムリアップ在住のAKIKOさんがレポートします。

カンボジア編を見る ▸

スタッフ一覧へ

このコンテンツ、あなたの評価は？ ○ おもしろい ◉ ふつう ○ おもしろくない 送信

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

フォトレポート from ドバイ

2010年12月21日

こんにちは！
今日はUAE・アラブ首長国連邦に在住のレポーター、AKANEさんから届いたフォトレポートをご紹介します。

■ドバイ国際空港

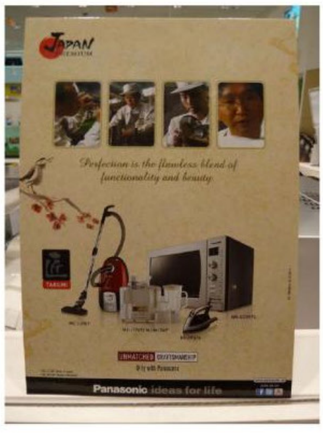
ドバイ国際空港の出国扉をPanasonic 3Dビエラの広告が覆ってます。FULL HD 3D ワールドへの扉、という感じですね！

■ジャパン・プレミアム

ドバイの人は、日本品質をとても信頼しており、日本製品への人気がとても高いです。現地の販売店をのぞいてみると、なんとアニメを活用したプロモーションが施されていました。テレビをはじめ、電子レンジや掃除機、アイロンなど主要な家庭電化製品が、"Japan PREMIUM"のラベルとともに訴求されていて、注目度抜群です。

■匠の技

実際の「匠」たちを紹介したポスターを見つけました。技術者たちの丹精こめたモノづくりの姿が、ここドバイでも高い評価を受けており、いわゆる日本の「匠の技」への信頼をゆるぎないものにしているようですね。



～編集部からのメッセージ～
ドバイを含む、アラブ圏で展開中の"Japan PREMIUM" キャンペーンは、あの、前後が先端の新型アイロンの開発物語「ソコに技あり！世紀のアイロン革命　～Wヘッドベースアイロン～ ＞ その３　世界が惚れこむアイロンを！」でもご紹介させていただきました。中近東での「メイド・イン・ジャパン」への高い信頼は、30年以上ものロングセラーを続けている、アイロン・21Aシリーズに端があるのかもしれません。わたしは開発者ではありませんが、パナソニックのモノづくりを伝えるものとして、改めて、身が引き締まる思いです。（編集部・工藤）

Panasonic Middle East Portal

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年12月21日
フォトレポート from ドバイ
2010年10月19日
カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機。
2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

ページの先頭へ戻る

ismトップ　コンテンツ一覧 | このサイトについて

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。現地在住のレポーターがお届けします。

カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機。

2010年10月19日

こんにちは！カンボジア、シェムリアップ在住のAKIKOです。ここシェムリアップは、世界遺産アンコールワットへのゲートウェイシティ。世界中から多くの観光客がやってきます。さて、このシェムリアップでパナソニックの洗濯機が大活躍しているご家庭に出会いました。早速、訪ねてみましょう！

世界遺産アンコールワット

発展を続けるシェムリアップ中心地

物干しいっぱいに広げて干された洗濯物

0歳から80歳まで、総勢11人の大家族。
市の中心部から車で約10分。シェムリアップ郊外にお宅を構えるセダーさん一家は、なんと総勢11人という大家族！家族はセダーさんを中心に、セダーさんの娘さん一家と息子さん一家、80歳のおしゅうとさん、そして農村部から出てきている親戚の男の子2人。下は0歳から上は80歳までと、バラエティに富んだ家族構成です。
カンボジアではこのように大家族で生活することが珍しくありません。自分の親や子ども、孫など直系家族の他に、農村部から子どもを高校や大学に通わせるため（農村部には高等教育機関がないのです）都市部に住む親戚に預けることも一般的です。

セダーさん一家大集合

一日に何度も回す洗濯機は、
丈夫で壊れないことがポイント。
セダーさん宅ではパナソニックの洗濯機が大活躍していました。カンボジアでは今でも未舗装道路が多く、表通りはアスファルトで舗装されていても、一歩路地へ入ると茶色いあぜ道が広がります。そのため雨期はどろどろ、乾期は埃っぽく、服も靴もすぐに汚れてしまい、洗濯は毎日の重要な家事の一つなのです。使っている洗濯機の容量は6.0kgと、11人分を洗うには少し小さめです。そのため、一日に何度も回すことになるのです。「でも、大丈夫。この洗濯機は丈夫ですから壊れません」と、家族が口を揃えます。なんだか、嬉しくなりますね。

2年前に購入したパナソニックの洗濯機

セダーさんのお孫さんたち。毎日泥んこで遊ぶ

ティエア・セダーさん

セダーさんの家の前

セダーさんの娘テリーさんと息子のセイハさん

信頼の高さで選んだパナソニック！
パナソニックの洗濯機の気に入っている点を聞いてみました。セダーさんは「使って2年ちょっとになるけど、故障せず、元気に動き続けているところです」。さらに小学校の先生をしているセダーさんの娘、テリーさんは「子どもたちは毎日泥んこになって遊ぶので汚れがひどいんです。でも洗濯機でいつでもきれいに洗えるので助かります」と大絶賛。

カンボジアでは何でも壊れるのが当たり前。私が住み始めてまず驚いたのは、色んなものがすぐにダメになってしまうことでした。実際、テレビのリモコン、電気のスイッチ、湯沸かし器等…買って半年も経たないうちに、次々と壊れていきました。そんな中、土や泥がついたまま、それも一日何回まわしても故障知らずのパナソニックの洗濯機は驚異的！セダーさんのコメントにも納得します。

セダーさん宅では以前は「たらい」で手洗いをしていたそうですが、観光ガイドをする息子のセイハさんが洗濯機の購入を提案。丈夫で性能が良いと評判のパナソニックの洗濯機は、こうしてセダー家の一員になったのです。

そもそも、シェムリアップに電気が通ったのは2005年のことです。以前は夜になると蝋燭をともす生活でしたが、電気が通ったことから一般家庭にも家電製品が急速に普及しました。ただし、その多くがテレビ、扇風機で、洗濯機を使用している家庭はまだ少なく、多くの人たちは今も「たらい」で洗っています。多くのカンボジア人にとって、洗濯機はまだ高額の花ですが、普及する日もそう遠くないと思います。

パナソニックはカンボジアでバツグンの知名度。

「アンコールワットの街」シェムリアップでは、観光業の隆盛に伴い人々の生活が向上し、中流層が増えてきました。街も徐々にインフラが整い、少しずつ都市化が進んでいます。特にここ数年の変化は目覚ましく、リゾートホテルが建ち並び、ショッピングセンターやファーストフード店ができました。

ずらりと並ぶパナソニック製の洗濯機

街中にある家電量販店にはパナソニックの洗濯機がずらりと並んでいました。お店の方に、他にどんなものが売れているのかを聞いてみると「冷蔵庫やクーラーがよく売れています。なんといっても暑いですからね。洗濯機も売れ行きは伸びていますよ。一番売れるのは7.0kgタイプですね。特にパナソニック製品はよく売れますよ。カンボジアではとても知名度が高いのです

シェムリアップの街中に設置されたパナソニックのエアコンの大型看板

▼取材を終えて
私が初めてカンボジアを訪れたのは2002年ですが、当時は街の目抜き通りにすら街灯もなく、夜は真っ暗でした。あれから8年が経ち、シェムリアップは本当に変わりました。今回取材したセダーさん宅は、中流層といったところ。今後さらに経済発展とともに中流層が増えていったら、カンボジア人の暮らしは大きく変わっていくことでしょう。また今回の取材で、パナソニックブランドが広く浸透していることを感じました。もともと親日的なカンボジア。技術大国日本への信頼は厚く、「パナソニック」と聞いただけで「丈夫で質が良く安心して使える」というイメージが定着しているのです。（リポーター　AKIKO）

～編集部からのメッセージ～
日本では、1951年代に当社洗濯機の第1号を発売しました。その後二層式を経て1965年に全自動洗濯機1号を開発、1970年頃からようやく全自動が普及し始めました。それが、カンボジアでは「たらい」での洗濯からいきなり全自動です。今回のレポートから、あっという間に電気製品が普及し、急速に成長するカンボジアの「今」を感じることができました。それと同時に、経済成長と環境問題が両立し、たくさんの人々の生活が豊かになるような技術や製品をお届けしなければと思いました。
（編集部・てつ）

「洗濯機の歴史」はこちら

■過去の世界のここにもパナソニック。
2010年10月19日
カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機。
2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

ページの先頭へ戻る
ismトップ　コンテンツ一覧 | このサイトについて

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。現地在住のレポーターがお届けします。

ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。

2010年8月 3日

こんにちは！ブラジル、リオデジャネイロ在住のNAOKOです。リオデジャネイロは2016年のオリンピック開催地にも選ばれた自然溢れる美しい街です。またW杯の開催も決まっているので、ブラジルは今後世界中の注目を集めることになると思います。そんなブラジルの特徴というと、かつてポルトガルだった時代から様々な人種がひしめき合い、独特の文化を形成していることです。中でも今回お伝えしたいのがブラジル人女性の美意識の高さです。これはブラジルの文化といっても過言ではないでしょう。そこで活躍するパナソニック製品について、まずは、愛用者の声から聞いてみましょう。

世界のリゾート、コパカバーナ

イパネマビーチ

ダニエラ・ダ・カルバーリョ・リベイロさん20歳

～外見も気に入った愛用アイテムがパナソニックの「ソイエ」～

小学校の先生になるための勉強をしているダニエラさんです。彼女が愛用しているのがブラジルでは“パナソニックの脱毛器”と呼ばれている「ソイエ」です。ダニエラさんが脱毛を始めたのは14歳の頃。「もう大きくなったから脱毛しなきゃね」と母親から勧められ始めたそうです。ブラジルでは脇とひざ下の脱毛は必須。腕の産毛は脱色のみ。ビキニラインはデリケートなので、美容室での脱毛か、自宅でクリームを使用します。お友達の家でおしゃべりしながら脱毛することも多いそうです。

パナソニックの「ソイエ」を購入したのは、友人から勧められたことがきっかけ。「友人が持っているのを使用して、とても実用的だと思ったわ。スピーディーだし、ぬらしたりジェルをつけたりする必要がなく、簡単で楽」。というダニエラさん。「ブラジルの女の子はピンク色が大好きなのよ！可愛い外見もポイントが高かったわ！」。

ビューティトレンドに敏感なダニエラさん

ダニエラさんのお部屋はピンク一色！

「ソイエ」を使用するのは2週間に一度。30分ぐらいテレビの前でのんびりと脱毛することが多いそうです。「ちょっとつねられるような感じはするけど、痛みはほとんどない」、とダニエラさん。他の脱毛器だと肌荒れをすることもあるそうですが、赤くもならず、ひりひりすることもなし！とお気に入りの様子。長期の旅行に行く時には必ずもって行くそうです。

ブラジルで脱毛は、女性にとって「常識」「エチケット」といわれるぐらい基本的なビューティケアです。美容室がいたるところにあるにも関わらず、自宅でケアする人も多いブラジル。そこで、このあたりの事情に詳しい「マリ・クレール」ブラジル版のビューティ担当編集者フェルナンダ・アレグレッチさんにお話をうかがいました。

フェルナンダ・アレグレッチ（Fernanda Allegretti）さん

～ブラジル人女性はボディケアを大切にしています～

「美しくあることを、ブラジル人女性はとても大切にしています。特にボディケアをすることに強いこだわりを持っています」とフェルナンダさん。ブラジルは冬でも暑い国。たくさん化粧品をつけても落ちてしまう、この気候条件から自然派ビューティを追及する人が多いそうです。

～ヘアーとネイルと脱毛が3大基本ビューティポイント～

そんなブラジル人女性が特に気をつけているのは、ずばり！ヘアー、ネイル、脱毛！フェルナンダさんによれば一般的にヘアーは毎日、もしくは週一で集中トリートメント。ネイルは1週間に一度。脱毛は15日に一度の間隔で集中的にケアします。仕事の時もデートの時も、この3ポイントが整っていることは基本なのです。

～自宅でのケアに満足する女性も多い～

ブラジルでは美容室でヘアー、ネイル、ムダ毛のトリートメントを行っています。フェルナンダさんによれば「美容室でのプロフェッショナルなトリートメントに関心を寄せる女性が多い一方、自宅でのトリートメントに満足している女性が多いのも事実です。彼女たちは自分にあった製品、トリートメント方法を熟知しつつ、自宅でのケアを選んでいる場合が多いですね」。

～女性誌の特集にもしばしば登場するビューティ家電～

「大都市では、時間を短縮するために自宅でトリートメントを行う女性が増えています。マリ・クレール ブラジル版では、自宅で使用するビューティ家電、脱毛器、ドライヤーなどの特集をよく行います。特にドライヤーや脱毛器などのビューティ家電は今後もブラジルで大きく伸びていくと思います」とフェルナンダさん。ドライヤーを持っている女性は多いが、脱毛器は少しずつその支持を増やしている真っ最中のブラジル。ビューティ家電の質が確実に向上しているので、今後人気を獲得してくと考えられています。

プロフェッショナルなケア用品が並ぶ美容室。

3大ビューティポイントの一つ、ネイル。輝く手元はおしゃれの基本です。

ショッピングを楽しむリオデジャネイロの女性。

▼取材を終えて

ビューティ家電の話は以前からよく聞いていました。特にパナソニックは日本の製品ですから「どうなの？」と聞かれることも多いです。今回フェルナンダさんの話を聞くと、丁寧でかつ、プロフェッショナルな仕上がりを望む女性の中には、美容室だけでなく、自宅で脱毛器を使用している人が意外に多いことに驚きました。経済発展による働く女性たちの忙しさが加速すればするほど、美意識の高いブラジルでは、こうしたビューティ家電の需要は高まりそうです。がんばれパナソニック！（リポーター　NAOKO）

協力/ マリ・クレール ブラジル版

～編集部からのメッセージ～

ブラジル人女性の美意識の高さ、さらに、美にこだわる方ほど、実は自宅でもボディケアをしていることに驚きました。また、そこで「ソイエ」が役立っていることがうれしく思うと同時に、マリ・クレールブラジル版のフェルナンダさんがおっしゃられていたように、ドライヤーや脱毛器など、今後さらに自宅でのボディケアを行う流れが進んでいくということに、ブラジルのこれからのビューティ家電の可能性を感じました。（編集部・てつ）

パナソニックのボディケア商品ソイエ

女性も男性もパナソニックで“おうちエステ”

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界のリゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

ページの先頭へ戻る

ismトップ　コンテンツ一覧 | このサイトについて

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」

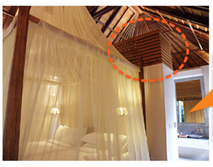
2010年4月27日

日本のみなさん、こんにちは。インドネシア・バリ島在住のETSUKOです。私は結婚を機にバリ島に住み始め、およそ2年が過ぎました。バリ島は世界に誇るリゾートですが、在住経験が短い私にはあらゆることが興味津々です。中でも、バリ島の著名ホテルでよく見かけるのがパナソニックのエアコン。そんなところなぜ気になるの？と言われそうですが、年がら年中暑く、湿気の多いこの国では、エアコンがなかったらすべての機能がストップするとまで言われる重要な存在なのです。ではなぜパナソニック？これを確かめるため、話題のホテルを訪ねました。

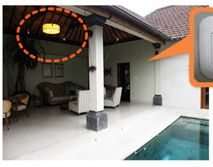
～ホテルのエアコンと電話はすべてパナソニック～

取材させていただいたのは、世界のホテルランキングにも登場する隠れ家ホテル「The Disini Luxury Spa Villas」（以下、ホテル・ディシニ）です。フロントに到着して、すぐに目に入るのが、2台がフル回転中のエアコン。後に、ホテルの事務スペースも特別に見せていただくと、そこのエアコンも、電話もFAXも、すべてパナソニックでした。

続いてヴィラです。ここの電話もパナソニック。「ホテル・ディシニ」は各部屋がプール付きの一軒家なので、外出時はカートが迎えに来て、離れたところにあるゲートまで送ってくれます。だから、電話は必需品なのですね。



お部屋の中を見てみると、木調の家具の中に、やはりパナソニックのエアコンがありました。広いヴィラの部屋も、2台のエアコンが快適にしてくれています。



おさらに見つけたのが、お部屋の明かりを調節する「調光器」。プール付きのヴィラで明かりが調整できるとムーディになりますね。

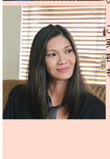
ここはスパです。「ホテル・ディシニ」のスパは評判が高く、宿泊者以外のお客さんもたくさんやってきます。もちろんエアコンはパナソニックでした。

スパの施術用ルームの電話もパナソニックです。 ホテル内を見せていただき、エアコンと電話のすべてがパナソニックだということがわかりました。

～25年前に感じたパナソニックというブランドへの信頼～

なぜここまで家電をパナソニックで統一しているのでしょう。バリのディストリビューターの方の努力があったのでしょうか？それとも、「ホテル・ディシニ」の関係者がパナソニックに勤められていた？と考えながら、オーナーにその理由を聞いてみました。

「答えはひとつ。僕が信頼できるからです。25年前、カナダで事業をしていたとき、ちょうどコードレス電話が出てきました。当時のオフィスでパナソニックはとても優秀で、10年経っても品質が変わらなかった」と話すカナダ人オーナーのティムさん。では、なぜエアコンも？と聞くと、「カナダにはエアコンがないんですよ（笑）。だから、電話機で信頼できたパナソニックを選んだのです」。このヴィラをオープンするにあたり、ティムさんがこだわったのは最高の「おもてなし」。この「おもてなし」のベースが、24時間フル稼働するエアコンだったのです。「バリ島は暑い島です。もしもエアコンが止まったら、お客様の大切なヴァカンスが台無しになる。その心配がないわけですから、パナソニックを選んで正解でした」。



こちらはオーナーの奥様・キャロラインさん。台湾系のカナダ人で、「私の実家でもパナソニック製品が多いですよ。そうそう、ドライヤーや健康、美容系の製品もパナソニックを選んでいます」とのこと。美しい彼女の「美」もパナソニックが支えているんですね！

ご自慢のバイクに乗るティムさん。
素敵なオーナー夫妻です。

～キッチンでも信頼のパナソニック！～

「ホテル・ディシニ」はセントラルキッチン方式で、食事は温かいものを24時間届けてくれます。だから、朝寝坊して、お昼に食べる朝ごはんというのも、このホテルでは普通の風景。 もちろんキッチンにもパナソニックのエアコンと扇風機がありました。「暑いバリ島で、食材の鮮度を保ち、おいしく作るにはエアコンは重要だよ！一度も壊れないから信頼している」とフレンチ出身のシェフ。ここでもパナソニックブランドへの信頼は厚いですね。

バリ島に限らず、東南アジアでは未だ電力の安定供給が課題です。だから、各ホテルは電力の確保が経営の大きなテーマでもあります。ですから、せめてエアコンという機器に課題を残したくないという思いもあるようです。バリ島では「ホテル・ディシニ」の他にも、著名なホテルのエアコンはパナソニックを採用しています。バリ島にお越しの際は、お部屋のエアコンを見てみてください。「世界のここにもパナソニック」が実感できると思います。（レポーター：ETSUKO）

～編集部からのメッセージ～

世界的リゾート・バリ島にはたくさんのホテルがあるわけですが、シーズンに入ると予約が取れないほど人気の「ホテル・ディシニ」。くつろぐ、遊ぶ、食べる、そのすべてにおいて、センスのいいオーナー夫妻の考えが活きていることに、人気の理由がありそうです。そんなオーナーが、パナソニックのエアコンを「おもてなしのベース」と語ってくれたことに、私たちは大きな喜びがありました。選ばれる喜び、使い続けていただける喜び・・・直行便で8時間も離れたバリ島で、パナソニック製品が今日も世界中のゲストを「おもてなし」していると考えると嬉しい気持ちでいっぱいになりました。
ブランドへの信頼って重要ですね。あらためて、それを感じさせてくれました。（編集部・てつ）

Special Thanks
The Disini Luxury Spa Villas
Partenza Tour & Travel

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』と。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品

2010年3月16日

こんにちは。デリーレポーターのMIYUKIです。インドの料理といえば、カレーをイメージされる方が多いのではないでしょうか。でもインドのカレーと一口にいっても地域や家庭によってつくり方が違いますし、何よりカレーの基本となる「スパイスのブレンド」によって、幾通りものカレーが誕生するのです。

さて、インドの家庭でカレーをつくるのに欠かせないのが、このグラインダーです。今日は、友人のローチャンさんのお宅にあるパナソニック製のグラインダーを使ってチキンカレーをつくってもらいました！

このグラインダーの役割は、ミルでスパイスを粉状に挽くことと、野菜をピュレ状にすること。インドでは、スパイスは素材のカタチそのままで売っているのでミルで挽く必要があるのです。昔は臼を使って手で挽いていましたが、今では多くの家庭がこのミル付きグラインダーを使っています。

さっそくローチャンさんはスパイスをミルで挽いていきます。さらに玉ねぎとトマトをグラインダーにかけ、あっという間にピュレ状にしていきます。次に挽いたスパイスを炒めて香りが出てきたらピュレと一緒に炒めていきます。

水を加え、ピュレにした野菜とスパイスぐつぐつ煮込むと、キッチンには何ともいえないよい香りが漂ってきます♪最後に、やわらかくボイルしたチキンをあえて、チキンカレーが完成しました！「このグラインダーがあれば、簡単においしいカレーができるんだよ。必需品だね」と出来上がりに満足そうなローチャンさん。

インド家庭の必需品ともいえるグラインダーですから、様々なメーカーから発売されていますが、使いやすく、しかも品質が高いと評判なのがパナソニック。これからも、パナソニックの家電はインドの家庭に増えていきそうです。

レポーター：MIYUKI

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

ページの先頭へ戻る

ismトップ　コンテンツ一覧 | このサイトについて

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

ロシア編　モスクワのライフスタイル

2010年3月 9日

～毎朝欠かせない調理家電～

こんにちは。ロシア・モスクワのレポーターNAOKOです。モスクワの冬は、とても寒く、日中でも気温はマイナスの日が続いています。そんなロシアならではの家電情報をお届けします！
まずは寒いロシアの冬を元気に過ごすための調理家電、『ジューサー』です。

野菜や果物のフレッシュなジュースは、冬の重要なビタミンの補給として飲まれ、レストランのメニューにもあるほどロシアではよく飲まれています。モスクワでは健康志向が高まっていることもあり、『ジューサー』は、多くの家庭にあります。我が家のジューサーはパナソニックで、大きく「MADE IN JAPAN」の文字が刻まれています。ロシアで日本製品は安心して使える商品の代名詞なんですよ。

さて、ジュースづくりは家族思いな夫の朝の日課で、私と娘のためにジュースをつくってくれます。お気に入りはにんじんと洋ナシのジュース。つくり方はとても簡単で、材料を程よい大きさに切って、ジューサーの中に押し込んでいくだけ。絞りかすが取り除かれ、おいしいフレッシュジュースの出来上がりです。夫曰く「洗うのもとても簡単だから、忙しい朝でも続けられるよ！」とのこと。我が家の朝はこの一杯から始まります。

～ミートボールづくりとモスクワの秋葉原～

さて、引き続き、モスクワならではの調理家電をご紹介します。

それがこちら。

みなさんこれが何かお分かりになりますか？挽肉が簡単につくれる『ミートマシン』なんです。ロシアでは挽肉はスーパーでも売っていますが自宅でつくった方が肉の部位を選んで挽けるし、新鮮ですからおいしい挽肉ができるので多くの家庭で『ミートマシン』が活躍しています。このマシンがあれば好みに応じて挽けるのも魅力的です。寒い冬はミートボールの入った煮込みなど暖かい料理に活躍します。ロシア料理のペリメニ（水餃子）もできますよ！

最初にご紹介した『ジューサー』や、『ミートマシン』といった調理家電が揃っているのは、日本の秋葉原のような電気街「ガルブーシュカ」。ここに「Panasonic idea square」という大きなショップがあり、103インチVIERAをはじめパナソニック商品がずらりと並んでいます。

そこに見つけたのが右下の写真に写っているポスターです。日の丸をお皿に見立て、上にお箸をおいたイメージで、信頼のある日本ブランドをアピールしています。キャッチコピーは「日本のテクノロジーで　おいしく体に良く」。
モスクワでは寿司やうどんなどの日本食ブームが続いているので、おいしい日本食をつくりたいと思っている人はとても多いです。品揃えが豊富で、品質や耐久性の評価が高いパナソニックは、日本食ブームにのって、今後もモスクワの人たちにとってなくてはならない存在になりそうですね。

(2009年11月撮影)

レポーター：NAOKO

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年12月21日
フォトレポート from ドバイ
2010年10月19日
カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機。
2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

ページの先頭へ戻る

ismトップ　コンテンツ一覧 | このサイトについて

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。現地在住のレポーターがお届けします。

イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！

2010年1月19日

みなさん、イタリアといえば何を思い浮かべますか？パスタやピッツァといったイタリア料理でしょうか、それともサッカー？そう、イタリアとスポーツはきってもきれない関係なのです。今回はスポーツ好きなイタリア人のお宅を訪問します。そのお宅では最近、大型のVIERAを購入されたそうです。さて、このVIERAでどのようにスポーツ観戦を楽しんでいるのでしょうか？！現地ライターのKUMIKOさんがレポートします。

中世の町フィレンツェ。トスカーナ州の州都です。

こんにちは！イタリア・フィレンツェ近郊に在住のKUMIKOです。パナソニックのVIERAを購入したラボさんのお宅におじゃましてきました。ラボさんが住んでいるのは、フィレンツェから北東に30キロの町、キアンティ・ルフィナ。そう、赤ワインで有名な「キャンティ」のふるさとです。たわわに実ったぶどうも、すでに収穫が終わり、今は少し寂しくなっていました。

こちらがラボさん。早速、VIERAを見せてくれました。

ラボさんがお住まいのキアンティ・ルフィナのぶどう畑。「d.o.c.g」（イタリアワインの最高品位）の生産地を表す看板もあります。

～休日のお楽しみは、家族揃ってバイクレース観戦！～
とある休日、ラボさんのお宅を訪ねました。出迎えてくれたのは、ラボさんとガールフレンド、そしてラボさんのマンマ（お母さん）と妹さんです。ラボさんの趣味はモータースポーツ観戦で、このVIERAも、まさにそのためのもの。意外に思われるかも知れませんが、イタリアのモータースポーツ熱はサッカー人気と互角で、世界に名だたる名車の国ならではです。日本でも二輪レースのことを「MOTO（モト）」と呼ぶことが多いのですが、MOTOとはイタリア語でバイクのことです。さて、この日みんなが集まった理由は、TVでバイクの国際レースが行われるから。「うちにもTVはあるけれど、どうせ見るなら大画面で見たほうが観戦にも熱が入るからね」とマンマ。イタリアらしい、モータースポーツ観戦の楽しみ方をご紹介しましょう。

～お約束は、ワインとおつまみ～
イタリア式スポーツ観戦というと、ワインやピッツァなどを食べながら・・・というのがお約束です。名醸地キャンティですから、ラボさん宅では赤ワインがお約束ですね。ちなみに今日のおつまみは、生ハムやパテやチーズなど、トスカーナの名産品がずらり。中でも「フィノッキオーナ」というハムは、ういきょうの種がスパイスとして入った、この地方独特の半生タイプのサラミだったり、チーズもトスカーナ産のペコリーノ（羊乳のチーズ）のフレッシュ、半熟成、熟成の3タイプだったり。イタリアはその土地土地で伝統食材が違い、私の住む町とも違います。そのあたりが、お宅訪問の楽しみだったりしますね。

トスカーナの伝統的なハムやチーズが並びます。

マンマと妹さんも一緒にいただきます。

～さあ、レースが始まります！～
おなかが落ち着いたところで、いよいよバイクレースが始まります。あらためて、かんぱーい！今日は国際レースです。「がんばれ！イタリア！」。

イタリアではバイクのレースのTV中継はとても多く、視聴率も高いんです。でも、レースが始まると、割と静かに、真剣に戦況を見守ります。

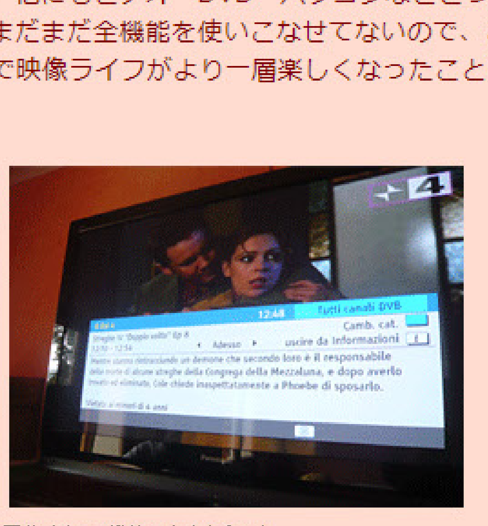
チームやライダーに詳しいラボさんが、マンマにいろいろと説明。「大画面だと細かい部分もよく見えて分かりやすいわね」。妹さんも「画面が大きくてこれだけ鮮明だと、本当にサーキットにいるみたい」。

大画面から伝わってくる迫力とスピード感に、応援にも熱が入ります。イタリア人ライダーがピンチに立つと、ラボさんは目を覆い、お母さんはこぶしを握り・・・。妹さんは手で頬を覆い、ドキドキを隠しきれません。

レース終盤は興奮して、自然と動作も大きくなります。ゴールの瞬間は皆で「やったー！」 イタリアが勝って、良かったー！

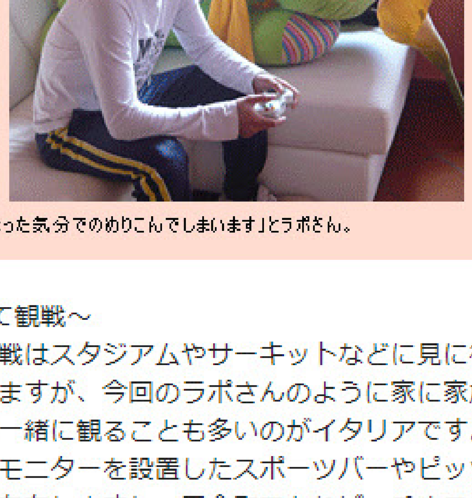
～友人が勧めてくれたライブ感のVIERA～
ラボさんが大画面・画質にこだわったのは、やはりレースが目の前で行われているかのようなライブ感を楽しみたかったから。「50インチで良いTVはないかと家電量販店に勤める友人に聞いたら、それならプラズマのVIERAだとすぐにこれを推薦してくれました。実際こうしてレースを観戦してみて、この臨場感はまさに僕が求めていたもの。彼の言葉を信じて正解だったと本当に思います」。もうひとつの決め手は、パナソニックは、映像の要となるパネルを日本で生産していると聞いたから。「今までに使ったパナソニック製品も不具合がでることがなく品質の良さを感じていたので、その話を聞いた時は心が動いた」と、自慢そうに話してくれました（ラボさん宅のパナソニック製品は、カーオーディオ、DVD等。寝室用に買ったもうひとつの37インチVIERAも、まもなく納品だそうです）。

～機能の充実もVIERAの魅力～
たくさんあるVIERA機能の中で、ラボさんがお気に入りなのは番組紹介表示機能。チャンネルを合わせてリモコン操作すると、番組プログラムと説明が表示されます。日本のように新聞の宅配が普及していないイタリアではとても便利な機能なのです。他にもビデオ・DVD・パソコンなどとつなげるリンク機能などもりだくさん。「買ったばかりでまだまだ全機能を使いこなせてないので、これから勉強です！」と言いつつ、VIERAを購入したことで映像ライフがより一層楽しくなったことに満足そうなラボさんでした。



大の映画好きでもあるラボさん、映画放映もこの機能で内容をチェック

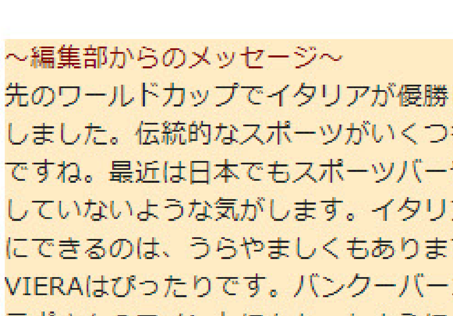
～TVゲームもVIERAだからレーサー疑似体験～
根っからのモータースポーツファンであるラボさん、なるほど部屋には有名メーカーのスポーツミニカーを集めたコレクション棚があり、さらに過去のレースビデオなどがいたるところに並んでいます。こんなラボさんが、X-BOXで遊ぶゲームももちろんモータースポーツ系。TVをVIERAにしてからは、画面が大きく発色がとても鮮やかなので、本当に運転しているかのように感じるそうです。



「画面に引き込まれて、自分がレーサーになった気分でのめりこんでしまいます」とラボさん。

～スポーツの熱狂と感動を共有するために集まって観戦～

ミラノのドゥモ広場。ワールドカップでは大型モニターが設置され、セリエAの地元チーム優勝の際には自然にファンが集まり、皆で勝利に酔いしれます。



大型画面が設置されたバールやピッツェリアに集まって皆で応援するのも盛り上がります。

スポーツ観戦はスタジアムやサーキットなどに見に行く人もたくさんいますが、今回のラボさんのように家に家族や友達が集まって一緒に観ることも多いのがイタリアです。 都会であれば大型モニターを設置したスポーツバーやピッツェリアがいくつも存在しますし、田舎町であれば、チルコロと呼ばれる町の集会所にTVが設置され、町中のファンが集まり、時にはガッツポーズ、時には野次を飛ばしながら、皆でひいきのチームを応援します。その理由は同じ熱狂と感動を分かち合うため。日曜のランチ、誕生日など、何かと理由をつけては家族、友人と集まることの多いイタリアですが、その集まりの理由のひとつが、ラボさんのようにスポーツ観戦でもあるのです。家でスポーツ観戦する場合に重要なポイントは当然TVです。ラボさんのVIERAのように迫力の大画面なら、自然と家族や友人が集まりそうですね。ソファーにて、ビールやワイン、食事を片手にリラックスしながら観戦すれば、盛り上がること間違いなしですね。

レポーター：KUMIKO

～編集部からのメッセージ～
先のワールドカップでイタリアが優勝した際、広場で集まって喜びを分かち合っている映像を思い出しました。伝統的なスポーツがいくつもあり、それを集まって観戦することもイタリアでは普通なのですね。最近は日本でもスポーツバーやおうち観戦が増えてきたように思いますが、こんなに日常化していないような気がします。イタリアのように、皆で一緒に観ることで得られる感動の共有が自然にできるのは、うらやましくもあります。そしてラボさんのようにライブ感を求めるなら、大画面のVIERAはぴったりです。バンクーバーオリンピックにも大活躍しそうですね！
ラボさんのコメントにもあったように、今回とりあげたVIERAのパネルは日本で生産し、最終的にチェコのピルゼン工場で組み立てられています。この工場は海外初の「エコアイディア工場」として、さまざまなエコの取り組みを実践しています。ここでつくられるVIERAが、今回のイタリアをはじめ、世界中の人たちに、迫力ある美しい映像の世界をお届けしています。（イズム編集部・てつ）

■過去の世界のここにもパナソニック。
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

© Panasonic Corporation

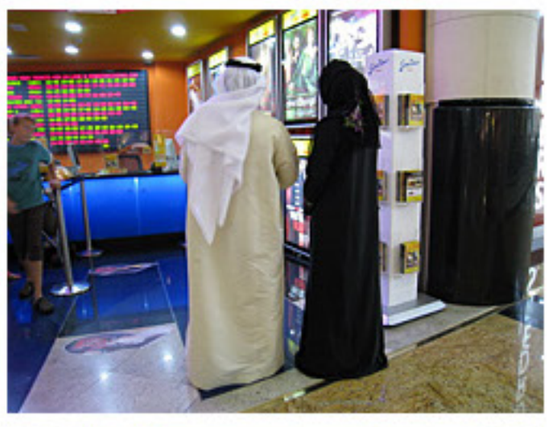
※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。

2009年12月 8日



こんにちは。UAE・ドバイのレポーターYOKOです。

オイルマネーで一躍有名になったですが、最近では首都であるアブダビの方が注目されることも多くなってきました。つい最近、世界的な旅行ガイド「ロンリー・プラネット」で「2010年に訪れたい都市ベスト10」に選ばれたからです。

アブダビは、急速に発展したドバイをさらに上回る壮大なプロジェクトが進行中で、来年には、ニューヨークに1937年に美術館をオープンして以来、世界各地で斬新なデザインの美術館を展開しているグッゲンハイム美術館やパリのルーブル美術館の分室もオープンする予定です。みなさんもこれからはドバイとアブダビの2都市周遊観光がおすすめですよ。

さて、私の暮らすドバイの話題に戻りますと、来年はいよいよ世界最大級のショッピングモールがオープンします。暑い国ですから、モールが充実することはUAEに暮らす人に有り難いことなんですよね。

そうそう。
今あるショッピングモールの中にはパナソニックのショールームもありますよ。先進的な暮らしを「まるごと」お買い上げ?！というお金持ちもたくさんいますから、ここでのプレゼンテーションは重要です。

そんな中で、ぜひみなさんにお見せしたいのがこれ！
パナソニックの冷蔵庫に水の給水口が付いているのです。UAEにある冷蔵庫に一般的に付いているものではありませんが、暑い国なので、水を頻繁に飲むことから、いちいち扉を開けなくてもすむように工夫されたアイデアなのですね。暑い国ならではのエコだと思いませんか？

レポーター：YOKO

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年12月21日
フォトレポート from ドバイ
2010年10月19日
カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機。
2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

ページの先頭へ戻る

ismトップ　コンテンツ一覧 | このサイトについて

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』 。

2009年12月 1日

こんにちは。フィリピン・マニラのレポーターTAKAKOです。

私の住む街、マニラ。
みなさんはどんなところかご存知ですか？

フィリピンの首都マニラは、正しくは「メトロ・マニラ」といい、最近アジアの中でも特に成長が著しいところです。

それほど離れていないエリアに5つの巨大モールがあったり、そのひとつがアジア最大級だったり。
マニラは年中暑いため、ショッピングから映画などのエンタテイメントまで、全て完結するエアコンの効いた涼しいモールが市民にとっての憩いの場所になっています。

メトロ・マニラには世界遺産もあります。フィリピンには5つの世界遺産があり、そのひとつが真ん中の写真のサン・オウガスチン教会。フィリピン最古の石造教会を大切に保存しています。

フィリピンはもとより、世界中から観光客が訪れていますが、同じカメラを発見して「あっ、ルミックスだ?」と思う瞬間は何度もあります 。

そこで、マニラ市内の家電ショップをチェックしてみると・・・。
ありました！売り場が一番大きいのがLUMIXです。
お店の人の話によれば、 LUMIXは一番の人気だとか。どおりで「あ、ルミックス！」と同じカメラを持つ人を見かけるはず。

レポーター：TAKAKO

■過去の世界のここにもパナソニック。

2010年12月21日
フォトレポート from ドバイ
2010年10月19日
カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機.
2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』 。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

© Panasonic Corporation

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

世界のここにもパナソニック。

日本をはじめ世界中に製品や技術をお届けしているパナソニック。さまざまな国の文化と暮らしの中に広がるパナソニックがどのように使われているのか覗いてみましょう。
現地在住のレポーターがお届けします。

香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

2009年9月 1日

今や香港の食卓に欠かせない、ふっくらとしたおいしいご飯。そこにパナソニックの炊飯器が大活躍しています。今回は、現地在住ライターのMAKIKOさんが、香港の食生活と炊飯器の深い関係をレポートします。

みなさん、こんにちは。MAKIKOです。私の住む香港は東京から飛行機で約3時間半、700万人の人が暮らすエネルギッシュな街です。1997年にイギリスから中国に返還された後も、ショッピングやグルメなど、ますますその魅力の幅を広げています。そして香港と言えば、世界中の美食家たちの舌をうならせるグルメな街です。まずは、そんな香港の家庭料理をご紹介しましょう。

～タイ米のご飯は香港料理との相性がぴったり！～
シーフード料理が有名な香港。日本のみなさんも大好きな蟹や海老などは、季節にあわせて市場を賑わせています。そんな香港の料理は、ご飯（白米）との相性もぴったりで、ご飯の上におかずを乗せて食べている風景はとても日常的です。このご飯ですが、香港で主に食べられているのは輸入されたタイ米で、割合は9割にものぼります。日本人にはパサパサした印象があるタイ米ですが、ご飯の上におかずを乗せる食べ方の場合、汁をたっぷり含むため、しっとり食べやすくなるのです。逆に日本米ではやわらかすぎるかも知れませんね。そしてタイ米特有の香りも、香港の人たちは楽しんでいるようです。

見てください、このプリプリの蟹！強い火力で海鮮を炒めたものが香港のご馳走なんです。

外食文化の根付く香港では、こうしたいかにもおいしそうな食堂がいたるところにあります。

香港で食されるお米のほとんどはタイ米。

～日本の炊飯器が求められるワケ～
外食文化が根付いている香港ですが、ここ最近流行っているのが「うちごはん」です。これは家で家族団らんする文化が徐々に定着していることと、不況の影響から外食を減らしたいという思いもあるそうです。そこで増えているのが、一般家庭用に販売されているお米の量で、なんと昨年の10倍だとか。もともと食にはうるさい香港の人たちが家庭で料理を始めたら、まさに美食追求型になります。おいしいご飯へのこだわりは炊飯器へのこだわりにつながっていきました。

スーパーでは袋詰めのタイ米も、専門店では量り売りされている。1kgで120円ほど。

日本米もスーパーで見ることができるが、1kgで500円ほどと値段はタイ米の4倍にもなる。

さて、そんな香港の人たちの食事情をレポートするために、友達夫婦の家を訪ねました。旦那さんのケンさんは貿易会社に勤務。食に関してとても厳しい目と、こだわりを持っています。奥さんのチキータさんも仕事をしていますが、健康のためにきちんとした食生活を心がけています。

昨年待望の赤ちゃんが産まれたケンさんご夫妻。できるだけ家族で一緒にご飯を食べたいという思いから「うちごはん」が増えたそうです。そして、「ふっくらとしたおいしいご飯」へのこだわりから、彼らが選んだのが、パナソニックの炊飯器でした。

ところで、この炊飯器に買い換えるときどこがポイントになったのかを伺ってみたところ、以前使っていた炊飯器は炊きムラがあったり、お米が焦げ付いてしまったりと不満が少なくなかったとのこと。もちろんこのパナソニックの炊飯器にはそんな心配はないそうです。奥さんのチキータさんが教えてくれた魅力は5つありました。

～チキータさんのパナソニック炊飯器　5つの魅力～
POINT1 焦げ付かず、ムラなく、ふっくら、おいしいご飯が炊ける。
POINT2 漏電の心配がなく、安心して使える。
POINT3 短時間で炊くことができる。
POINT4 見た目がスタイリッシュで、キッチンに置くとかっこいい。
POINT5 アタッチメントが豊富で、蒸し料理も作れる。

チキータさんが炊飯器を買い換える際に「ふっくらご飯が炊けること」と同じくらいにこだわったのが「安心して使用できる」ということ。香港は電力が安定していないところが多く、漏電などの事故が後を絶たないのだそうです。日本ではあまり心配ないことですが、重要なことですね。

～たった15分でふっくらご飯のできあがり！～
せっかくなので、厚かましくも、ご飯を炊いていただきました。お米が違うだけで磨ぎ方は日本と一緒ですが、違っているのは香港のパナソニック炊飯器には「15分早炊きコース（Quick cook15）」がついていること。香港では「おかず」を買ってきたり、さっと作る炒め物が多いため、ご飯を炊く時間が長いと待たなくてはならないのです。「うちは、いつも15分のコースですが、おいしいですよ！」とチキータさん。炊飯時間の短縮は香港家庭のニーズなのですね。

使用するお米はタイ米。
↓↓↓

お米の磨ぎ方は日本と一緒。数回磨ぎます。
↓↓↓

いつも「15分早炊きコース」で炊いているそうです。
↓↓↓

目盛りの分量まで水を入れてセッティング。あとはスタートボタンを押して待つだけ。
↓↓↓

たった15分でふっくらご飯の出来上がり！
ご飯の良い香りが部屋いっぱいに広がります。さあ早速いただきましょう。
↓↓↓

今回駆けつけてくださったチキータさんのお姉さん宅にもパナソニック炊飯器があるそうです。やはり最近は「うちごはん」が増えて購入されたそうです。でも決め手はお手伝いさん！なんと、フィリピン人のお手伝いさんのご実家でもパナソニック炊飯器を使っているそうで、信頼が厚かったようです。
さて、みなさんいかがでしたか？「うちごはん」人気、香港では今後も加速する見込みです。パナソニック炊飯器のニーズはますます高まりそうですね。

ケンさんの親戚やお友達も来てくれました。
みなさん、ありがとうございました！

～番外編　街で見つけたパナソニック～

こちらは炊飯器に形状が似た「Electric Slow Cooker」。フタが透明なので、中の様子が見やすく工夫されています。

調理中の料理は…

「南北杏雪耳雪梨（梨と白きくらげ、中国アーモンドの甘いスープ）」。香港らしいスイーツ感覚の煮物です。呼吸器に良く、おいしいのに体に良いのが嬉しいデザートの定番スープです。

レポーター：MAKIKO

～編集部からのメッセージ～
世界一グルメな街と言われるほど食が豊かな香港でパナソニックの炊飯器が選ばれていることが嬉しいですね。ちょっと誇らしくなりました。そして、「おいしく炊ける」と同じくらい「安心して使える」炊飯器が求められていることを再認識しました。香港でのパナソニックの炊飯器の歴史をまとめた「同じ釜の飯 ナショナル炊飯器は人口680万の香港でなぜ800万台売れたか」という本が発売されていますので、興味ある方はぜひご覧になってみてください。（イズム編集部・てつ）

■過去の世界のここにもパナソニック。
2010年12月21日
フォトレポート from ドバイ
2010年10月19日
カンボジアの大家族の家で活躍する洗濯機。
2010年8月 3日
ブラジル人女性に浸透するビューティ家電。
2010年4月27日
世界的リゾートは、パナソニックで「おもてなし」
2010年3月16日
インド編　グラインダーはスパイス大国インドの必需品
2010年3月 9日
ロシア編　モスクワのライフスタイル
2010年1月19日
イタリア編　スポーツ観戦は断然みんなで、迫力映像を！
2009年12月 8日
ドバイ編　冷蔵庫に給水口が・・・。
2009年12月 1日
フィリピン編　マニラでも人気の『LUMIX』。
2009年9月 1日
香港編　グルメな街、香港で活躍するパナソニックの炊飯器

© Panasonic Corporation